

日本鐵鋼協會記事

評議員會 (昭和 11 年度第 2 回)

日時 昭和 12 年 2 月 3 日(水) 午後 4 時開會

場所 丸ノ内二丁目十番地仲十四號館 社團法人日本鐵鋼協會事務所會議室

出席者

理事 水谷叔彦 渡邊三郎 吉川晴十 山縣愷介 松下長久
前會長 俵 國一 河村 驥
監事 島岡亮太郎
評議員 井上禧之助 大塚榮吉 向井哲吉 黒田泰造 朝倉希一
水谷會長議長に着き先づ開會を宣し次の報告をなせり

缺席者

缺席者中より原案賛成の通知受付たる數 48 通
缺席者にして回答なき數 10 名

以上の通りにして本評議員會は成立せり。

評議事項

第一議案

故工學博士野田鶴雄君記念事業會より寄附申込承諾の件

申込狀

拜啓 貴會御隆昌の段慶賀奉候 陳者昨秋八月來有志相謀り故工學博士野田鶴雄君記念事業會を組織し爾來此れが資金募集中の處各方面よりの熱誠なる御援助に依り多數の有志諸賢より巨額の金額の御寄附に預り候に付之れが處分方に付慎重審議の結果其の大部分たる金拾壹萬五千圓也を貴會に寄附致し野田文庫の設立を得て永久に故人を記念するを最も適當の方法と定め候に付ては次記條件を以て貴會に寄附致度候條御受諾相成度此段得貴意候 敬具

附白 追て記念事業會終了の際前記寄附金額以上剩餘金有之候節は更に追加寄附致度に付御合置相成度候

寄附條件

1. 故工學博士野田鶴雄君記念事業會(以下記念會と稱す)は社團法人日本鐵鋼協會(以下鐵鋼協會と稱す)に金拾壹萬五千圓也を寄附可致に付協會内に野田文庫を設けられ度事
2. 記念會は本資金の募集に關する一切の書類を鐵鋼協會に引渡し可申に付
 - (1) 資金募集勸誘狀 趣意書 及 寄附者名簿 は永久に之れを保存せられたき事
 - (2) 其他の書類は二ケ年間保存の後可然處分せられ度事
3. 鐵鋼協會は本資金を以て協會内に野田文庫を設立し鐵鋼に關する圖書其の他の文献を蒐集し之れが維持保存を爲されたき事
4. 鐵鋼協會に於ては本資金の取扱に關し適當なる規定を設けられ度事
5. 鐵鋼協會に於ては野田文庫の圖書と協會所屬の其の他の圖書と同一の室内に備付けらるるを妨げざるも本文庫の取扱に付ては總て本資金募集勸誘狀及趣意書の趣旨に遵ひ野田博士の功績を記念するに適當なる方法を講ぜられ度事
6. 本資金の内一部は文庫の設立圖書の備付けに使用せられ一部は維持基金に充てられ度事

7. 鐵鋼協會に於て將來本文庫の廢止を要するが如き已むを得ざる事由を生じたる場合に於ては日本製鐵株式會社々長と協定の上決定することと致され度事

昭和十二年一月二十六日

故工學博士野田鶴雄君記念事業會

社團法人日本鐵鋼協會々長水谷叔彦殿

以上に對し次の通り決定す

- (1) 承諾
- (2) 資金取扱規則を制定する事
規則案作成は理事會に一任する事

第二議案

常務委員 4 名を囑託すること並に人選は理事會に一任せられたき事

(理由) 會務も段々繁多となりたるに付常務委員 4 名を委嘱し庶務、會計、編輯、研究のことを分擔し理事の職務を補佐するを必要と認むるに付

原案通り決定

報告事項

1. 第 22 回通常總會並に第 17 回講演大會開催準備進行中
2. 第 15 回研究部會に「平爐の熱勘定」を上提に付き準備進行中
3. 鐵鋼要覽編纂進行中
4. 現在會員數

以上を慎重審議し午後 5 時 30 分閉會す。

理事會 (昭和 11 年度第 13 回)

開會日時 昭和 12 年 2 月 3 日(水) 午後 5 時

出席者 水谷叔彦 渡邊三郎 松下長久 吉川晴十 山縣愷介 俵 國一 河村 驥 島岡亮太郎

協議事項

1. 故工學博士野田鶴雄君記念事業會よりの寄附資金取扱に關する件
2. 常務委員選定の件
3. 俵賞受領者選定
4. 日本鐵鋼協會第二十二回通常總會並に第十七回講演大會及研究部會開催日程變更の件
會場の都合に依り次の如く變更
4 月 1 日(木) 講演會(午前) 總會 講演會(午後) 晚餐會
4 月 2 日(金) 講演會(午前午後共第一部第二部に分開)
4 月 3 日(土祭) 工場見學
4 月 4 日(日) 研究部會
5. 評議員會並に服部博士記念資金委員會開催日決定
次の通り

二月二十四日(水) 午後四時より服部博士記念資金委員會、午後五時より評議員會開催

6. 入退會者及び會員異動(自 1 月 14 日至 2 月 3 日)
 - (1) 入會者承認數 正會員 5 名 准會員 16 名 計 21 名
 - (2) 退會者承認 正會員 小日山直登 准會員 船津定光 濱野實雄 計 3 名

報告事項

1. 會計關係

昭和 11 年 12 月及 12 年 1 月分收支報告

2. 庶務關係

(1) 本年秋季大會に關する件

(2) 日本金屬學會發會式に招待の件

會長出席祝詞朗讀のこと

(3) 圖書寄贈受付

工學博士齋藤大吉著

金屬材料及其加工法 一部 著者より

二元合金狀態圖集 一部 材料研究會より

ゴムとゴム類似物 一部 "

創業二十周年記念株式會社

大同電氣製鋼所要覽 一部 株式會社大同電氣製鋼所より

以上審議し午後 8 時 30 分散會

常務委員會 (昭和 11 年度第一回)

日時 昭和 12 年 2 月 5 日 (金) 午後 5 時開催

出席者 水谷會長 吉川理事

委員 田中清治 山田良之助 三島徳七 鹽澤正一

本日會長より愈會勢の發展に連れ會務繁多を來し常務委員設置の必要を痛感し既に理事會、評議員會の決議を経たるを以て茲に前記委員四氏に對し常務委員を委嘱したき旨述べられ四氏の就

任快諾を得、協議に入る

協議事項

1. 常務委員事務分掌

次の通り

庶務擔任 山田良之助 會計擔任 鹽澤 正一

編輯擔任 三島 徳七 研究擔任 田中 清治

2. 編輯委員會定期日變更の件

從來毎月末火曜と規定しありたるを月初の水曜日と變更

3. 第 17 回講演大會プログラム案作成

4. 秋季大會準備に關する件

以上を審議し午後 8 時散會す

編輯委員會 (昭和 11 年度第 11 回)

開會日時 昭和 12 年 1 月 26 日 (火) 午後 5 時

出席者 水谷會長 吉川理事

委員 石原 善雄 五百旗頭啓 山田良之助 三島 徳七

鹽澤 正一 廣瀬 政次

協議事項

1. 俵賞金受領候補者選定

2. 研究部會開催準備の件

3. 鐵と鋼第 2 號第 3 號抄録原稿選定

4. 鐵鋼要覽編纂に關する件

以上の通り審議し午後 8 時 30 分散會

新入會者氏名

居所又は宛名先	勤務先又は職業	會員別	入會者	紹介者
城東區大島町七ノ五 日本鑄鋼株式會社		正會員	青木元直君	田中清治
日本橋區室町二丁目		"	三井物產株式會社 業務課資料掛	村松橋太郎
王子區下十條町		"	陸軍造兵廠 東京工廠	同上
豐島區池袋三ノ一六一〇	工學士	"	石川福三郎君	吉川晴十郎
兵庫縣武庫郡鳴尾村上田字東濱一	電極製造業	"	昭和電極株式會社	村松橋太郎
江戸川區小岩町三ノ一三六三	吾嬌製鋼所壓延部	准會員	松田保幸君	高宮一士
富山縣射水郡新湊町 日本鋼管株式會社 電氣製鐵所	理學士	"	船橋元夫君	江原浩介
室蘭市茶津町 茶津寮	日本製鋼所室蘭工場	"	大友伊助君	甲藤新
大阪市此花區春日出町三五二	住友金屬工業會社製鋼所	"	山地俊勝君	川本良吉
吳市西愛宕町八七ノ一一 新田春一方	吳海軍工廠製鋼部	"	宮崎保幸君	大谷益次郎
尼ヶ崎市東向島西之町 住友金屬工業 會社鋼管製造所	明專工學士	"	大倉幸雄君	佐々川清
吳市郷町八八 片岡方	理學士 吳海軍工廠	"	若島久男君	佐々川清
吳市西愛宕町一二一	"	"	溝部浩君	伊木常世
大阪市西區北堀江御池橋通一ノ三	工學士 住友金屬工業會社 鋼管製造所	"	吉田友彦君	鹽澤正一
室蘭市茶津町一二 茶津寮	日本製鋼所室蘭工場	"	江島 ^{タケン} 儂君	甲藤新
旅順南臺町二ノ七ノ六	滿鐵撫順炭礦機械工場	"	水内昇一君	村松橋太郎
室蘭市茶津町 茶津寮	日本製鋼所室蘭工場	"	井戸正留君	甲藤新
福岡縣八屋町 日本鋼業會社社宅	日本鋼業會社	"	石上俊一君	渡邊禎次郎
福岡縣八屋町	"	"	高月政雄君	同上
大阪市大正區船津町三 中山製鋼所設計 課		"	繩田芳治君	中島三太
葛飾區堀切町八三五	東京製鐵會社技手	"	本田清君	行方畝三郎